

## 平成24年教育委員会 第2回臨時会

- 日 時 平成24年2月14日(火) 18時00分
- 場 所 教育委員会庁舎3階 教育委員室
- 出席委員 高木委員長、北嶋委員、末永委員、遠藤委員、上林教育長
- 欠席委員 なし
- 事務局 教育部長、教育部参事、教育部副参事、指導室長、石山指導室主幹、中島指導室主幹、  
総務管理課長、総務管理課総務係長
- 傍聴人 なし
- 開 会 18時00分 閉 会 19時25分

### 協 議 第1号 小樽市学校教育推進計画2次計画の中間点検・見直しについて

#### ・事務局説明

小樽市学校教育推進計画2次計画の中間点検・見直しについて、先の教育委員会第1回定例会での協議を踏まえ、「重点目標3 健やかな体の育成」に教育委員会の関連する施策として「学校安全講習会の開催（応急処置、AEDの使い方、防災教育について）」を、また、「重点目標5 信頼に応える学校づくり」に学校における主な実践項目として「学校評議員の要望や意見等を生かした教育活動の改善・充実」を追加したことの説明を行う。

#### ・委員意見・質問

- ① 新年度より中学校の保健体育科で取り入れられる武道（柔道）に関して、安全性の確保とAEDの使い方についての研修等についての質問
- ② 中学校における柔道の授業に際して、ストレッチや受け身を十分に指導するよう、また、実技を行う上で不適切な厳寒期での授業は避けるようにとの意見
- ③ 学校評議員に関して、地域と家庭の教育力が低下してきている中、評議員への期待は大きいと思われるが、評議員の年齢構成に偏りがある学校が見受けられることから、市教委が何らかの基準を設けてはどうかとの意見
- ④ 「重点目標3 健やかな体の育成」の学校における主な実践項目として「性や薬物に関する正しい知識の取得」とあるが、その具体的な指導についての質問
- ⑤ 「重点目標4 社会の変化に対応した教育の推進」の教育委員会の関連する施策として「小学校の外国語活動における教員の英語の指導力向上のための研修会」が掲げられているが、その具体例についての質問
- ⑥ 児童生徒の英語力の向上には、指導する側の英語力を高めなければならないとの意見
- ⑦ 小学校における英語について、ALTを交える授業が年間数時間程度ではいつまでたっても児童の英語習得の効果が上がらない。主に指導する教諭の英語力が重要であり、教諭の英語力を評価するシステムが必要であるとの意見

#### ・事務局

- ① 実技面での安全性の確保については、大学柔道部の監督を招いての実技研修会を開催したこと、実技指導に係る教育課程実施の手引を作成し各校に配付したこと、また、AEDの使い方については、今年度も消防署から講師を派遣してもらい教員向けの講習会を開催した。

また、柔道の授業中に発生した事故の報告を十分に踏まえて、学校と連携しつつ、安全面を第一にした指導を行う。

- ③ 各学校の推薦で就任している学校評議員は、町内会役員等地域の方が多いたのが現状であり、評議員が固定化している学校に対しては基準までとはいかないが、ある程度の目安を示して入れ替えを示唆するなど、バランスのある年齢構成に努めるよう促していきたい。
- ④ 性についてはもともと学習指導要領に基づき各教科でも取り上げられており、同要領による指導を今後も行っていくこと、薬物については主に保健体育科で学んでいるものであり、学校薬剤師や警察署などの外部講師を活用しながら指導の充実を図っていきたい。
- ⑤ 小学校教諭を対象とした研修会を今年度は3回実施し、ALTを活用した研修の他に、中学校の英語教師が小学校の担任教師をどうサポートしていくのかという狙いを配した研修を行っている。
- ⑥⑦ 担任がどこまでできるのかは個人差があるというのが現状であり、ALTのサポートを得たり、英語に堪能な外部人材を活用した授業を進めるとともに、今後、高校で導入が進んでいるオールイングリッシュの英語授業に対応できる生徒を送り出して行けるのか、危機感を持って臨んでいきたい。

(非公開で審議)

**協 議 第2号 平成23年度全国学力・学習状況調査問題を活用した北海道における学力等調査の結果と公表について**

平成23年度全国学力・学習状況調査問題を活用した北海道における学力等調査の結果の報告とその公表方法についての説明が事務局からあり、全委員による協議が行われた。

**協 議 第3号 平成24年度教育行政執行方針について**

小樽市議会第1回定例会において教育長が示す「平成24年度教育行政執行方針」(案)についての説明が事務局からあり、全委員による協議が行われた。

(非公開の審議を終了)